

J A北群渋川 半期開示

(平成23年3月～平成23年8月)

2011年 8月末現在

目 次

I 地域貢献情報

1. 地域貢献の全般に関する事項	1
2. 地域からの資金調達の状況	1
3. 地域への資金供給の状況	2
4. 文化的・社会的貢献に関する事項	3

II 財務状況等

1. 2011年度8月末（仮決算）の状況	4
2. 貸借対照表	4
3. 損益計算書	5
4. 主要勘定の状況	6
5. 金融再生法開示債権（単体）	6
6. 単体自己資本比率	6
7. 有価証券の時価	7
<参考>	8

I 地域貢献情報

【開示項目】

1 地域貢献の全般に関する事項

当JAの経営理念として、「組合員の暮らしと経済の向上のため地域に密着した活動に取り組み、その発展に貢献すること」と掲げているように、全ての事業は組合員・利用者の皆様に安全・安心・信頼・満足をしていただけることを基本としています。今年度は通所介護施設の建設に着手し、開所後は要介護者に対して入浴・食事等の介護や日常生活上の世話、機能訓練、健康管理、療養上の世話をを行います。また消費者の食の安全への関心が高まるなかで、安全な食料を責任を持って提供するとともに、生産者の顔の見える農畜産物の創造と多彩な農業の里づくりと、意欲ある農業の担い手を確保・支援するため、新規就農者・定年後就農希望者・女性農業者などの育成・支援を引き続き実践し、地域農業の振興に取り組んでまいります。

2 地域からの資金調達の状況

当JAの地域からの資金調達については、サマー、ウインターキャンペーンを中心に展開しています。また年金友の会会員6,000名を目標に会員増加運動を展開しています。今年度は6月～8月末までのキャンペーン期間を設け、当JAへご新規で預入（定期貯金）された方に10倍金利適用を行い、貯金残高の増加に努めました。

(単位：百万円)

種目	2009年8月		2010年8月		2011年8月	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
貯金	82,780	99.90%	79,762	99.91%	82,607	99.91%
当座性貯金	30,317	36.59%	30,781	38.56%	31,447	38.03%
定期性貯金	51,517	62.17%	48,093	60.24%	50,326	60.87%
定期積金	945	1.14%	887	1.11%	834	1.01%
借入金	84	0.10%	68	0.09%	77	0.09%
資金調達合計	82,864	100.00%	79,830	100.00%	82,684	100.00%

3 地域への資金供給の状況

当JAの貸出金は、農業関連資金、個人向けローンの需要が低迷しておりますが、日曜日のローン相談会をはじめ、各店舗融資窓口や渉外活動を通じ、個人向けローンの拡充を図っています。

貸出金科目別残高と構成比

(単位：百万円)

種目	2009年8月			2010年8月			2011年8月		
	残高	構成比	貯貸率	残高	構成比	貯貸率	残高	構成比	貯貸率
手形貸付金	16	0.1%		17	0.1%		9	0.1%	
証書貸付金	11,312	96.1%		12,119	96.4%		12,099	98.7%	
当座貸越	162	1.3%		160	1.3%		152	1.2%	
金融機関別貸付	272	2.3%		272	2.2%		0	0.0%	
合計	11,763	100%	14.2%	12,568	100%	15.7%	12,261	100%	14.8%

ローンと制度資金の状況表

(単位：百万円)

		2011年8月		
		件数	金額	
ローン	カード(貸越)	341	20	
	営農	2	1	
	住宅	自己	146	1,622
	賃貸	0	0	
	生活関連	509	2,918	
	合計	998	4,563	
制度資金	農業近代化資金	58	224	
	畜産特別資金	19	302	
	その他	90	457	
	合計	167	984	

組合員区別の貸付金残高

(単位：百万円)

		2011年8月	
		金額	
組合員	正組合員	4,260	
	准組合員	2,731	
	組合員計	6,991	
資格区分 員外	地方公共団体	4,981	
	地方公社等	0	
	金融機関	0	
	その他	287	
	員外計	5,269	
合計		12,261	

4 文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

- ・高齢者福祉活動への取組み
- ・通所介護施設の建設
- ・福祉用具の貸与
- ・ローン・年金等各種相談会の開催
- ・顧問弁護士による無料法律相談会の開催
- ・顧問税理士による無料税務相談会の開催

(2) 利用者ネットワーク化への取組み

- ・年金友の会
グラウンドゴルフ大会では7月から8月にかけて行われる各支部ごとの予選会
上位100名以上にて、北群渋川大会を開催しています。上位18名が9月に行
われる県大会に出場します。
また、年金友の会の集いでは芸能や歌謡ショーを満喫し、毎回1000名を超え
る会員が来場します。
- ・アグリ大学の開講
平成15年7月に開講し、10数名で始まったこの会も、年数を重ねるごとに受
講者も増え、定年退職者、帰農者などを対象に営農指導を行い、農業の楽しみ、
収穫の喜びを学びながら農業の輪を広げています。最近では女性受講者が増加し、
参加者の半数以上を占めています。
- ・ミニデイサービスの開催
営農部ふれあい課を中心として各支所の年金友の会役員を通じ、参加者を募集し
て各地区の集会所などで開催しています。毎回工夫を凝らしたたくさんの催しも
ので好評を得ています。

(3) 情報提供活動

- ・インターネットによる情報提供
組合ホームページにより組合員の枠を超え、直売所情報や賃貸物件情報など幅広
く情報を提供しています。
- ・広報誌「はばたき」の提供
組合員を中心に各分野の情報を提供しています。農薬散布方法や手入れ、家庭菜
園での栽培方法など盛りだくさんの情報を提供しています。

II 財務状況等

1. 2011年度8月末（仮決算）の状況

肥料・飼料の価格の高止まり状態が続き、さらに東日本大震災の影響等により、農畜産物価格は低迷しており、農業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

当JAの上半期決算状況につきまして、信用事業は金利10倍定期貯金をはじめ、各種キャンペーンを実施し収益は増加しましたが、費用を差し引いた事業利益は前年対比において減少しました。共済事業は目標設定ポイントの見直しを図り、早期達成に向け推進いたしました。収益が前年対比において減少しました。購買、販売事業ともに、農畜産物価格の低迷や不安定により収益が減少しました。

事業総利益は655,968千円で前年比83.05%、計画比で89.33%でありました。上半期剰余金は35,222千円で前年比21.00%（△132,501千円）と大幅に落ち込んでおりますが、これは仮決算事務の一部変更（貸出金等の資産査定による貸倒引当金計上等）があり、主な要因のひとつとなっております。

非常に厳しい状況下であります。下期に向けて役職員一丸となって各事業に取り組んでまいります。

2. 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	85,467,642	1. 信用事業負債	82,877,423
(1) 現 金	381,332	(1) 貯 金	82,607,125
(2) 預 金	71,537,221	(2) 譲渡性貯金	-
(3) 買入金銭債権	-	(3) 借 入 金	77,605
(4) 金銭信託	-	(4) 外国為替	-
(5) 有価証券	1,094,127	(5) その他の信用事業負債	192,692
(6) 貸 出 金	12,261,562	(6) 諸引当金	-
(7) その他の信用事業資産	442,320	(7) 債務保証	-
(8) 債務保証見返	-	2. 共済事業負債	852,290
(9) 貸倒引当金	△ 248,922	3. 経済事業負債	157,076
2. 共済事業資産	28,651	4. 設備借入金	-
3. 経済事業資産	868,009	5. 雑 負 債	46,897
4. 雑 資 産	82,269	6. 諸引当金	462,932
5. 固定資産	1,603,662	7. 繰延税金負債	△ 18
6. 外部出資	1,885,237	8. 再評価に係る繰延税金負債	-
7. 繰延税金資産	61,753	負債の部合計	84,396,601
8. 再評価に係る繰延税金資産	-	(純資産の部)	
9. 繰延資産	-	1. 組合員資本	5,615,710
		(1) 出資金	1,647,403
		(2) 回転出資金	-
		(3) 資本準備金	3,900,000
		(4) 利益剰余金	68,307
		(5) 処分未済持分	△ 16,531
		2. 評価・換算差額等	1,445
		(1) その他有価証券評価差額金	1,445
		(2) 土地再評価差額金	-
		純資産の部合計	5,600,624
資産の部合計	89,997,226	負債及び純資産の部合計	89,997,226

3. 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	655,968	(9) その他事業収益	325,064
(1) 信用事業収益	560,779	(10) その他事業費用	291,487
資金運用収益	352,084	その他事業総利益	33,577
役務取引等収益	9,300	2. 事業管理費	662,067
その他事業直接収益	7,725	(1) 人件費	486,193
その他経常収益	191,699	(2) 業務費	55,689
(2) 信用事業費用	337,329	(3) 諸税負担金	26,446
資金調達費用	33,189	(4) 施設費	92,009
役務取引等費用	2,671	(5) その他事業管理費	1,728
その他事業直接費用	-	事業利益	△ 6,099
その他経常費用	301,469	3. 事業外収益	54,974
信用事業総利益	223,449	4. 事業外費用	5,417
(3) 共済事業収益	293,844	経常利益 (又は経常損失)	43,457
(4) 共済事業費用	25,618	5. 特別利益	26
共済事業総利益	268,225	6. 特別損失	1,649
(5) 購買事業収益	1,667,713	税引前当期利益 (又は税引前当期損失)	41,834
(6) 購買事業費用	1,559,893	7. 法人税、住民税及び事業税	6,611
購買事業総利益	107,819	8. 法人税等調整額	-
(7) 販売事業収益	1,709,657	当期剰余金 (又は当期損失金)	35,222
(8) 販売事業費用	1,686,761		
販売事業総利益	22,896		

4. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成23年2月末	平成23年8月末	増減
貯金	79,345,473	82,607,125	3,261,652
貸出金	12,088,493	12,261,562	173,068
預金	68,420,527	71,537,221	3,116,694
有価証券	1,094,196	1,094,127	△ 68

5. 金融再生法開示債権(単体)

(単位：千円)

債権区分	平成23年2月末	平成23年8月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	684,777	760,593	75,816
危険債権	78,418	35,470	△ 42,948
要管理債権		9,200	9,200
正常債権	11,364,743	11,498,311	133,567
合計	12,127,938	12,303,575	175,635

6. 単体自己資本比率(国内基準適用)

平成23年2月末	平成23年8月末
21.61%	20.88%

平成23年8月末の比率は、次の方法により算出しています。

- 1 基本的に平成23年8月末の数値を用いて計算していますが、8月末時点の額を把握できないものについては、2月末の残高を使用しています。
- 2 平成23年2月末から8月末までの間に、特別に債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき、必要な修正をしています。

7. 有価証券の時価

(単位：千円)

保有区分	平成23年2月末			平成23年8月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
満期保有目的	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
その他保有目的	92,041	94,196	2,156	92,032	94,127	2,095
合計	1,092,041	1,094,196	2,156	1,092,032	1,094,127	2,095

平成23年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- 1 8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価として
います。
- 2 取得価額は取得原価または償却原価によっています。

< 参考 >

自己査定債務者区分、金融再生法債権区分、ディスクロージャーリスク管理債権の関係

○自己査定における債務者区分との比較

	定義	対象債権	留意事項
自己査定債務者区分	(破綻先、実質破綻先、破綻懸念先、要注意先のうち要管理先、その他要注意先、正常先)	総与信	
再生法債権区分	開示を目的		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権	信用与信	自己査定における破綻先、実質破綻先のうち信用事業に係る総与信（貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金）
危険債権	経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権	信用与信	自己査定における破綻懸念先のうち信用事業に係る総与信
要管理債権	3か月以上延滞貸出債権および条件緩和貸出債権	貸出金	自己査定における要管理先のうち3か月以上延滞貸出金および貸出条件緩和貸出金
正常債権	上記以外	信用与信	上記以外の信用事業に係る総与信
リスク管理債権	開示を目的		
破綻先債権	未収利息不計上貸出金のうち法的破綻等している先	貸出金	自己査定における破綻先の貸出金
延滞債権	未収利息不計上先で破綻先債権、条件緩和債権以外の先	貸出金	税務上の6か月以上延滞貸出金のほか、未収利息不計上貸出金として破綻懸念先を開示(拡大解釈)
3か月以上延滞債権	元本、利息の支払が3か月以上延滞している貸出債権	貸出金	自己査定における要管理先債権のうち3か月以上延滞貸出金
条件緩和債権	条件緩和した貸出債権(上記以外の債権)	貸出金	自己査定における要管理先債権のうち条件緩和貸出金